

## みんなで考えよう 心のバリアフリー

12月9日(金)に、4年生全員で「心のバリアフリー」について学習しました。4年生の保護者である内藤さんに話していただき、その後、内藤かのかさんの作文を聞きました。

内藤さんのお話は、「心にバリアがある人は、どういう人か？」から始まりました。パワーポイントを使って、分かりやすく説明してくださり、途中には「心のバリアフリーって簡単なことだね。」と、子どもからつぶやきが聞かれました。「人間は、みんなちがう。ちがうことを認め合い、聞くことから心のバリアをなくしていこう。」こんなお話でした。

また、内藤かのかさんは、作文で普段かのかさんが学校生活で思っていることを伝えてくれました。

「今日はみんなの心にバリアフリーの種をまきました、これからは一人ひとりがバリアフリーの芽を出し、大きな花を咲かせていってください。」内藤さんのこの言葉を、4年生全員がかみしめ、そして実践していってくれることを担任一同心から願っています。授業後、今日の授業の感想を書きました。以下は、児童の作文です。

♪ しせつがバリアフリーでも、心がバリアフリーでないと意味がないことが分かりました。これからは、心にもバリアフリーを作っていきたいです。心にバリアを作っていかないようにします。

困っている人や、体が不自由な人を助けてあげたいと、本当に思いました。心のバリアフリーをいっぱい作っていききたいです。

♪ ぼくは、ずっと心のバリアフリーとは、人のことを思うやさしい行動だと思っていました。でも、今日の話聞いて、それは少しちがうのではないのかな、と感じました。心のバリアフリーは、人とのちがいをみとめた上で、その人のやってほしいことは何か、その人のやりたいことは何かを考え、その人を知ることだと思いました。分からないことは聞く、想像して、コミュニケーションをとることで、なかよくなれるんだと思います。

これからは、みんなで心のバリアフリーを広げていきたいです。

♪ 今日の話聞いて、どうすればいいかを学びました。しょうがい者やにんぷさんなどの人達に対して、どんなことをすればいいかや、どんなたいどをとればいいかなど、自分とちがうところを見つけることが大切だと、分かりました。

そして、みるちゃんの作文を読んで心にひびきました。こんなことをしてほしいんだ、こういうことはいやなんだと、実感しました。みるちゃんの勇気は、みんなも分かってくれたと思います。これからは、だれにでも優しい人間になりたいです。

♪ 話を聞くまでは、「心のバリアフリーって何？」と、思っていました。でも、今日の話聞いてだいぶ分かってきました。私は毎日、そんなにたくさん人が傷つく言葉を使っていないと思います。でも、弟にはやさしくしていません。理由は弟は1年生だし、ルールを弟の方がよく知っているからです。

今日の話聞いて、ちょっとじょうだんで言っても、人が傷つくこと、しょうがいや病気のある人を差別しないことを学びました。私の心もよりバリアフリーにしていきたいと思いました。

♪ 私は今日、バリアフリーの勉強をして、3つのことを感じました。1つ目は、しょうがいなどがあっても、みんな同じ、みんな同じ仲間だということ。2つ目は、声をかけて、相手のことを知ったり、今どういうふうを考えているのかを思うことです。仲がよくない友達でも、少しでも話しかけたら、少しは仲良くなれるのじゃないかな？と、心から思いました。

3つ目は心のバリアです。心のバリアをなくすことは、案外かんたんで、むずかしそうです。でも、第一に相手の気持ちを考えたら、かんたんにできそうです。心のバリアは、だれにでもあると思います。なので、一歩進んで花を咲かせれば、心のバリアがなくなるなど、思いました。